

製品名: c-Jun (リン酸化Ser63) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21089**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:36kD;Observed MW:48kD

抗原情報

遺伝子名	JUN
別名	JUN;Transcription factor AP-1;Activator protein 1;AP1;Proto-oncogene c-Jun;V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog;p39
遺伝子 ID	3725.0
SwissProt ID	P05412
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

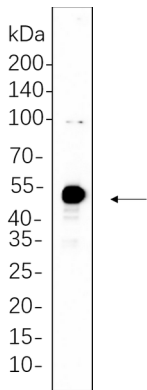
細胞局在: 核。この遺伝子は、鳥肉腫ウイルス 17 の推定形質転換遺伝子である。ウイルスタンパク質と非常に類似したタンパク質を

コードし、特定の標的 DNA 配列と直接相互作用して遺伝子発現を制御する。この遺伝子はイントロンを持たず、ヒト悪性腫瘍における転座と欠失の両方に関する染色体領域である 1p32-p31 にマッピングされている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



C6 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を c-Jun (リン酸化 Ser63) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG (H + L) 抗体を用いた。